

園長 だより

No. 6

「劇遊び発表会」へのご支援・ご協力ありがとうございました。

また、感想をありがとうございます。子供の成長の喜び、演技の感想、園や先生に向けての励ましの言葉等々をいただきました。来年の「劇遊び発表会」にかしていきたいと思います。 *保護者感想(一部抜粋)

〇年長組

・昨年より個々がはっきりとセリフを言い、前に出たり下がったりテキパキと動きテンポ良く進んでいくお話はとても見応えがあった。我が子だけでなく「あの子があんな大きな声で…」 「あの子もあんなにイキイキとした顔で…」とたくさんの発見があった。美智子先生が仰っていた「役になることで悪口を言ったり、悲しんだりを思い



切り出来る」には、大きく頷いた。表現する力と人の気持ちを理解する力が育まれていることと思う。月のうさぎが益々楽しみだ。

・人前に出ると恥ずかしくてモジモジしてしまうので一人でセリフを言えるのがずっと心配していた。一日目は祖父と祖母が観にきてくれて、とっても上手だったわ。感動した。と言ってくれたので心配事はなくなり、楽しみな気持ちで観に行くことが出来た。

・劇の進行、台詞、立ち位置、身振り、手振り、声の大きさや聞き取りやすさ…どれをとっても素晴らしかった。ブラボーだ。年中さんから年長さんへのこの1年あつという間に感じていたが、しっかり成長していることを実感した。

・全員が一つにまとまっていて取り組んできた様子を強く感じる劇だった。皆堂々としていてとってもたくましかった。来年の月のうさぎが楽しみになった。

・圧巻の演技だった。幼稚園児とは思えない発表に観客も静まり返っていた。一人ひとりが自分のパートをしっかり演じていただけでなく、チームワークを感じた。遠足やお泊まり会を通じてクラスのまとまりが出来たのだろう。みんな友



達を大切にしていることが発表からひしひしと伝わってきた。

・あつという間に年長組になり、成長を感じる劇を観させてもらった。一人ひとりちゃんと息を合わせてセリフを言っているところに感動した。普段から人前で劇をしたり何かを発表したりする事が、苦手と言っている息子だが、本人なりに頑

張ったことがとってもよく伝わった。

・今まで劇遊びの練習は、家ではやっていなかったが、年長さんになってからは、時間があるときにこっそりと練習をしていた。今回の劇を成功させたい気持ちがとっても伝わった。本番では少し表情が硬い感じだったが、練習のかいがあって間違えずにセリフを言えて本人もとても満足な表情だった。長いセリフなんて言えるの？自分の番になったら前に出てこられるのと心配ばかりだったが、全て出来た子供に成長を感じとても嬉しく思った。

・歌の場面での満面の笑み！？一生懸命の作った笑顔…どこかのスクール生の様な演じっぷりで普段は恥ずかしがりやな娘だが、役に入り込んでいて、とても大きな声でセリフも言えていて新しい娘の姿を観ることが出来た。きくの一人ひとりが立派にセリフを言えていて、たんぼぼ、うめ、きくと本当に皆の成長を感じた発表会だった。

・前日から、いやそれより前からとっても気合いが入っていた娘。「どんなセリフ話すの？」と聞いても「わかんない」「ひみつ」となかなか教えてくれず、「何の役やるの？どんなお話？」「赤鬼…」とだけしか教えてくれず、桃太郎かぁ…とも思っていた。しかし、きく組通信で、リアクション上手とかかれ、赤鬼になったと知り、喜ぶべきか、少し恥ずかしいような…でも、本番になり、かわいいたんぼぼさん、少し大きく立派になったうめさんの後のきくさんの演技に、とってもたくましく、涙をこらえながら見るのが大変だった。しかし、よしの先生にもらい泣きしてしまった。演技後美智子先生に練習の様子を聞き、とても嬉しかった。



・「泣いた赤鬼」は、さすが年長！といった感じだった。この子達の年少の頃を思い出すと「成長ってすごい」と思った。

・ある日の帰りによしの先生から「台詞をよく覚えていて皆を引っ張ってくれているんですよ」の一言にビックリ。実はものすごく発表会に力を入れているんだなど。本番は自信を持って舞台に立ってね。と先生からアドバイスをいただけて、本番は本当に、自信に満ち溢れた表情とハッキリと台詞を言う姿に感動した。息子の新たな一面を見られて嬉しく思う。

○年中組



・みんないっしょうけんめいれんしゅうした…。みんながんばってできた。せんせいたちがんばっておしえてくれた。すごくてのしかった。

・昨年よりも成長を感じ、台詞の覚えも良く、待機中の落ち着きに驚いた。我が子に関しては、本番うまく出来なかったと悔しがっていたが、その光景も新鮮だった。

・息子にとって初めての劇遊び発表会。準備の段階から家でも楽しみにしている様子だった。配役をどうして選んだのかを尋ねたところ「キノコのダンスが面白そうだったから」との回答。迎えた発表会当日、舞台での息子は緊張しているようだったが、すぐにいつものニコニコ顔で楽しそうに演じていた。

・今年は2回目の劇遊びだった。昨年と比べると目に見えて成長が感じられた。普段、真正面からまじまじと見ることがないので、顔つきや背格好なんかも変わってきたなぁと実感した。

・年少組のときから早1年。みんなで劇を作りあげていくということを一人ひとりが少しずつ理解していたようで、仲間みんなとのまとまりを見ていて感じることができた。

・少し緊張している感じだったが、他のくま役のお友達とセリフを合わせて言えていたので、協調性が出てきたなぁと思った。来年の発表会では、またどのくらい成長出来るのか、とても楽しみだ。

・何日も前から虹の歌を家でYouTubeを見たりしながら何度も練習していた。クジラで作ったきこのカレンダーを見ながらきのこの歌をよく歌っていたから

か、きのこの役を選んだようだ。前に出るタイプではないと親は思っていた



が、セリフもちゃんと覚えて、大きな声を堂々と出している姿に胸が熱くなった。来年はどんな姿を見せてくれるのか今から楽しみだ。

・成長するほど緊張したり、恥ずかしがったりするようになった娘を頑張れ頑張れと心のなかで応援して、親の自分も人前に立つのは苦手なので見ていて手に汗を握る思いだった。劇はセ

リフだけでなく動きもあって、歌もあって、限られた時間のなかでみんなよく頑張ったなどジーンときた。

・年中さんになり他の子との声の合わせ方、動きのスムーズさが際立っていた。1年でこれほど成長するとは思っていなかった。つい、劇の発表中に手を振ってしまい、娘も反応して手を振ってきたのが嬉しくもあり悲しくもあり、複雑な気持ちになった。家にいる姿とは、想像も出来ないくらい立派な姿を見られて、また、一つ娘の成長を実感することができた。

・年少さんの時は、どんな可愛い劇なのか...と単にわくわくしていたが、今年家でどんな役をするの?と聞いても教えてくれず、劇が始まるまでそわそわしてしまった。幕が上がると昨年よりも一回り大きくなった子供たちが大きな声で歌ったり、セリフをしゃべったり。可愛さももちろんあったが、とても頼もしい姿に見えた。1年でこんなにも成長を見せてくれるとは正直驚いた。最後の「虹」という歌は、昨年のうめ組さんが歌っているのを聴いて、とても感動したので今年は我が子も含めたうめ組さんでの合唱はさらに感動し、泣きそうになった。

〇年少組

・年少組のかわいらしさは本当にいつ見ても癒やされる。各役にお母さん役(?)の皆を引っ張る子がいたり、恥ずかしくても頑張った子、泣いてしまったけど舞台上上がった子、ダンスが上手な子、皆可愛かつ



た。兄も妹も帰宅してから「あれは？なんだ？」と歌ったり踊ったり教えあったり楽しそうだった。

・立っているだけで可愛らしいうえに踊りまでおどるとさらに可愛さが増し、観客席が自然に笑顔になった。たくさん練習したんだろなあと思心した。

・普段から人見知りで、何か新しいことに取り組んだりするのが、中々出来ないで、舞台の上で踊ることなんてまず出来ないだろうな...と思っていた。当日ドキドキしながらリスの姿で舞台に出てきたら皆と一緒に歌い踊っている姿を見てビックリした。とっっても楽しそうで私も一緒に体が動いていた。

・どの学年もそれぞれ楽しく拝見出来た。息子は下を向いたり、泣きそうになったりしながらも一生懸命参加出来ていて感動した。来年に期待。

・去年の今頃に、未就園児として劇遊びを見たときには、来年には、こんなに成長して劇が出来るなんて想像すら出来なかった。しかし、今回の劇を見てたんぼ組皆しっかりと演じていて、感動と驚きだった。

・保育参観やお迎えの時、私の顔を見るとすぐに「ママー」と甘えん坊のスイッチが入る娘なので、きっと大勢のなかから探すだろうと思っていた。だけど探すことなく堂々と踊る姿を見て驚いた。最後の方にパパのカメラを見つけて手を振っていたが、最後までやり遂げた姿は、娘が普段家族には見せないもう一つの姿に見えた。運動会の時よりも、またさらに成長を感じた一日だった。

・「どうぞのいす」は初めての「劇遊び発表会」だったのに本当に上手で、また一生懸命な姿に感動した。家でも毎日ほぼ踊っていた。

・前日かぜでお休みした娘、覚えているのか心配だったが、ちゃんと覚えていてビックリした。いつもべったりのお友達も舞台上で踊っているのが印象的だった。

・二日間あったことで、一日目は舞台袖で観ているだけだった息子も二日目は、お友達一緒に舞台上に立つことができ、場所見知りする息子にとっては有り難かった。

・発表会に皆が観に来てくれることをすごく楽しみにしていた息子。観てもらうのが大好きなので、どんなダンスを楽しく踊るのかな？と私も楽しみにしていた。本番では、少し照れてしまったのか、おふざけをしてしまう場面も...。内心ちゃんとやって～と思っていたが、年少さん初めての発表会。色々な感情があるなかで、皆の前に立ったのだから、それだけでもすごいと褒めてあげなくてはと思い直した。

